

『高田賢三を語る』

その功績、そして素顔と横顔

令和5年4月15日（土）

13時開場 / 13時30分開演

アクリエひめじ 中ホール

当日先着順 600名（無料）※事前申込不要

KENZO ブランドの創設者で世界的デザイナーとして活躍され、2020年10月フランスでご逝去された、姫路市名誉市民の高田賢三氏。37年間、ビジネスパートナーとして、プライベートマネージャーとして賢三氏を公私ともに支えた、鈴木三月氏。そして、賢三氏の生前に撮影がスタートし、今年公開予定のドキュメンタリー映画の監督である中山章太郎氏。

『高田賢三を語る』では、パリコレクションをはじめ世界のコレクションを取材されているファッションジャーナリストであり、「FASHIONSNAP」（ファッションスナップ）のファッションディレクター、小湊千恵美氏を迎え、画像や映像を折り込みながら、人間味溢れる賢三氏のお人柄や賢三氏のファッションに対する想い・世界観を語ります。

登壇者：鈴木三月氏 中山章太郎氏 小湊千恵美氏



ドキュメンタリー映画『# KENZO TAKADA』
© THE U.D.S. LTD. / TRIPOD Ltd, Liability Co.



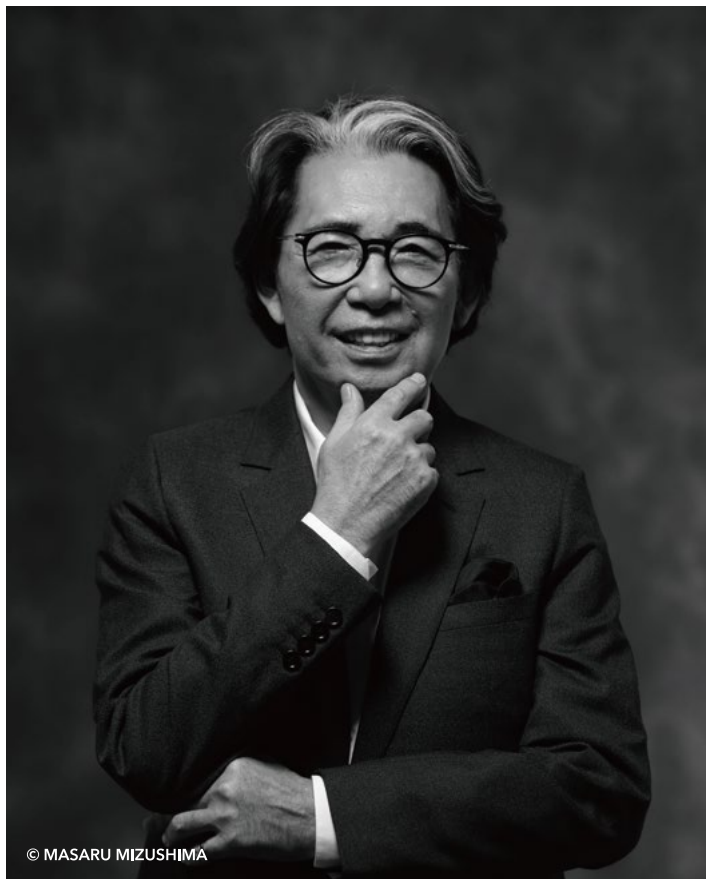
高田賢三と私
「パリの息子」とすごした37年
著者 鈴木三月



主催：姫路市

企画・制作：株式会社セ・シュエット

・トークイベントの撮影（静止画・動画）はお控えください。
・会場内では、インターネット配信や取材メディアによる写真や動画撮影が行われる予定です。会場内のお客さまが映り込む場合があります。それらは、インターネット配信、イベント終了後の広告物、取材メディアによるテレビ／新聞／雑誌／WEBなどに露出／掲載される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



高田 賢三（たかだ けんぞう）／デザイナー

兵庫県姫路市生まれ。1960年新人デザイナーの登竜門である「装苑賞」(第8回)受賞。1961年文化服装学院デザイン科卒業、1965年に渡仏。1970年パリ、ギャラリー・ヴィヴィエヌにブティック「ジャングル・ジャップ」をオープン。初コレクションを発表。パリの伝統的なクチュールに対し、日本人としての感性を駆使した新しい発想のコレクションが評判を呼び、世界的な名声を得る。その後ブランドを「KENZO」とし、高い評価を受ける。1984年仏政府より国家功労賞「シュヴァリエ・ド・ロルドル・デザール・エ・レトル」芸術文化勲章（シュヴァリエ位）受勲。1998年仏政府より国家功労賞「コマンドゥール・ド・ロルドル・デザール・エ・レトル」芸術文化勲章最高位の（コマンドゥール位）受勲。1999年2月、ニューヨークで国連平和賞（タイム・ピース・アワード）の'98年ファッション賞を受賞。10月パリコレクションを最後にKENZOブランドを退く。同年紫綬褒章を受章。2004年開催アテネオリンピック日本選手団公式服装をデザイン。パリ市よりパリ市大金星章を受章。その後、デザイナー活動及び絵画を手掛けた。絵画展は、フランス、モロッコ、アルゼンチン、ウクライナ、ロシアで開催。又、ドイツにて2008年に開催。その後は、クリエイションにおける異業種とのコラボレート事業を展開。その他、世界の伝統文化を継承する為の活動をライフワークの1つともしていた。2016年仏政府よりレジオンドヌール勲章「名誉軍団国家勲章」(シュバリエ位)を受勲。同年、8月下旬より限定一年間、日本において、セブン&アイ・ホールディングスの社傘下のそごう・西武及びイトーヨーカドーのPBブランド「セット・ブルミエ・バイケンゾータカダ」を展開。2017年12月「夢の回想録」出版。2018年Edition du Cheneより「KENZO TAKADA」を出版。2019年10月・東京二期会主催／演出家宮本亞門氏による『蝶々夫人』の衣裳を手掛ける。日本を含む4ヶ国初の共同制作公演（ドイツ・ドレスデン・ゼンパーオーバー主催／サンフランシスコオペラ主催／コペンハーゲン・ザ・ロイヤルデイニッシュ主催）。2020年1月HOME&LIFESTYLEの新ブランド「K三（ケースリー）」をパリから世界に向け発表。パリ・Saint-GermainにK三（ケースリー）のSHOWROOMをOPEN。2020年10月4日パリにて他界。2021年2月27日株式会社玄光社より「KENZO TAKADA」(高田賢三 ファッションデザイン画アーカイブス) 発売。同年、姫路市名誉市民称号を受称。第39回毎日ファッション大賞 特別賞受賞。



鈴木 三月（すずき やよい）
株式会社セ・シュエット 代表取締役

東京都出身。パリソルボンヌ大学、Institute Catholique 大学短期留学。㈱SBA ㈱French Fashion Center（パリプレタボルテ・オートクチュール協会日本事務所）入社。その後、ファッションを更に学ぶ為、SUN デザイン研究所・スタイリスト科入学。その際、高田賢三氏との出会いがあった。卒業後、㈱エルカ（「KENZO」ブランドのライセンスである会社）に入社。KENZOのレディースラインのPR担当として働く。ファッション業界において、MD企画・営業面なども並行して学ぶ。1991年、日本における「アタッシュ・ドゥ・プレス」（アウトソーシングのプレス会社）の先駆けとして㈱バザバを設立。ヨーロッパのファッションブランドのPRを主に手掛けるとともに、KENZOパリ本社からの依頼を受け、日本におけるブランド「KENZO」としてのPRを担当。と同時に、高田賢三本人よりパーソナルマネージメントの依頼も受ける。㈱バザバの業務は、ヨーロッパを中心としたファッションブランド関連の仕事をはじめとし、コスメ・美容・レストラン等衣食住を中心とした女性・男性に向けた情報をメディアへ発信。2000年高田賢三氏とともに共同経営者として㈱KENZO TAKADAを日本に設立。賢三氏のビジネスパートナーとして更に活動を広げる。2011年㈱バザバを、㈱セ・シュエットに社名変更（バザバは現在PR事業部として存続）。又、本業務以外としての活動として、モード学校での講師や2013年調理師免許取得後、フードアドバイザーの仕事にスタート。“美”を追求し、ライフスタイルを豊かにし、高齢化社会の為にも尽力を注ぐ活動を開始。2020年10月、SHOP CHANNELにて自身のウィメンズのブランド「Minimalize+Plus」（ミニマライズ+プラス）をスタート。2023年高田賢三氏の誕生日である2月27日に、賢三氏のご功績とお人柄を皆さまに広く伝える為、そして次世代を担うアーティストに向け、著書「高田賢三と私」を出版。



中山 章太郎（なかやま しょうたろう）
映像ディレクター・ドキュメンタリー監督

1985年大阪生まれ。8歳から富山で育つ。法政大学国際文化学部を卒業し、日本大学大学院芸術学研究科（映像芸術専攻）を修了。テレビ制作会社でテレビ番組の制作に携わり、独立後、ドキュメンタリー番組等のディレクションや編集を行う。高田賢三氏のドキュメンタリー映画は初監督作品となる。



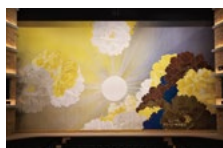
小湊 千恵美（こみなと ちえみ）
FASHIONSNAPE ファッションディレクター

文化服装学院卒業後、デザイン会社を経てレコオランドに入社。2018年FASHIONSNAPE ファッションディレクターに就任。パリミラノを中心とした海外コレクション、ラグジュアリー領域を担当。今回書籍「高田賢三と私」で、編集協力として携わる。

ご来場いただく際のお願い

- ※来場時はマスクの着用をお願いします。
- ※サーモグラフィまたは体温計による体温測定を行い、37.5度以上の場合、入場をお断りします。
- ※アクリエひめじでは、上記のほか、新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。アクリエひめじのホームページで詳細をご確認いただき、ご来場いただきますようお願いします。

高田賢三氏デザインによる緞帳



SUNRISE（大ホール）



SUNSET（中ホール）

※本イベントでは大ホールの緞帳はご覧いただけません。



会場
アクリエひめじ
姫路市神屋町143番2
TEL: 079-263-8082

お問い合わせ
姫路市文化コンベンション推進室
TEL: 079-221-2064



アクリエひめじ HP